

樋口会長ら、韓国・国技院へ! 3月23日 韓国 ソウル

全日本テコンドー連盟、武田正博理事長、細江順一専務理事、樋口悦夫常務理事の幹部3名は、テコンドー普及発展のための基本協定(MOU契約)申込みのため、韓国ソウルを訪れた。

日本は人口1億を超える先進国だが、1981年から30年以上経つにも関わらずテコンドー人口は4,000人程度と少なく、その原因は、組織運営の拙さや、競技主体の考え方など、武道テコンドーへの関心も薄く、指導者教育も充実してないなど、また、内閣府からの是正勧告を受けるなど組織的にも大きな問題があるなどとして、既存の全日本協会ではなく、今後は、全日本連盟に普及への期待を委ねる方向となった。

菊陽支部がオープン! 4月6日 菊陽南部町民センター

合志支部長、高細工洋、県協会理事は、この度、菊池郡菊陽町に菊陽支部を開設した。

菊陽地区は、人口が増加している地域であり、今後の会員増が見込まれることなどで、高細工支部長が解説、開設日には、5名のジュニア会員が、基本練習などに汗を流した。

今後の活躍に期待したい。練習日は、毎週月曜日の夕方5時半から7時までとなっている。



練習の様子



練習の様子

パナソニック4KテレビCMでテコンドー好評放送中!

1月、パナソニック4KテレビのCMで、熊本武道館支部の森永修斗選手の取材が行われたが、5月からそのテレビコマーシャルが全国放送されている。

阿蘇や宇土の自然の中でテコンドーが映し出されたが、全国で、テコンドーがCMの中に登場するのは稀で、大きなPRとなった。

YouTube(パナソニック公式チャンネル)では、さらに詳しく公開されている。是非ともチェックを!

世界テコンドー本部・国技院、(一社)全日本連盟と協定締結 5月19日 韓国ソウル国技院

国技院は、一般社団法人全日本テコンドー連盟とこの度、MOU契約を正式に締結した。

5月19日、国技院で連盟代表、武田正博理事長、国技院、チョンマンスン院長が協定書にサインし、今後の日本国内に於ける、品・段審査の推薦権限、研修会、競技大会開催等について、互いに協力し普及活動を推進することなどが、取り決められた。

今後、国技院日本担当師範となった金漢老師範と全日本連盟が、中心となり日本国内での国技院関連事業を推し進めることとなった。



調印式の様子



調印式参加者

テコンドーくまもと Vol.45

TAEKWONDO KUMAMOTO 2015.1▶2015.5



白熱する全日本選手権大会

第45回 熊日スポーツ賞に津田ひかる (学園大) 牧野信一 (県協会玉名支部) が奨励賞を受賞! 1月17日 熊本日日新聞社



受賞を伝える新聞記事

毎年、恒例の熊日スポーツ賞はこのほど、熊日新聞社本社で授賞式があり、7団体21個人に贈られた。

本協会所属の津田ひかる選手(学園大)牧野信一選手(玉名支部)の2名は、2014年の全日本選手権大会の優勝等が評価され受賞、津田選手は昨年に続く受賞、牧野選手は、念願の全日本優勝を果たしての嬉しい受賞となった。

また、津田選手は、全日本を最後に現役を引退、後輩の指導に当たるとのこと、有終の美を飾った。

県内テコンドーの発展に貢献するとともに、ジュニア選手への大きな励みにもなる受賞であった。

第33回 全日本選手権大会、県勢大活躍! 5月24日 東京都大正小学校体育館

一般社団法人全日本テコンドー連盟が昨年11月に正式に発足して半年、念願の連盟主催の第1回大会を開催した。

大会回数は、1981年に当時の日本テコンドー協会が第1回を開催してから日本連盟、全日本協会での回数を通算し、その歴史を重んじ第33回全日本大会とした。

全国13府県から選手が出場、開会式では、武田正博大会会長が、連盟として今後、普及活動に全力で取り組み、原点に戻り武道としてのテコンドーを普及させたいと挨拶、続いて樋口常務理事が、5月19日、国技院でのMOU契約締結についての説明があった。競技は、ジュニアから一般までのブンセ、キョルギの2競技で熱戦が繰り広げられた。

県勢では、一般68Kg級で西田亮選手(不知火)が-80Kg級で阪上弘一選手(学園大)が優勝を飾った他、ジュニア選手の多くが入賞を果たした。



笑顔の阪上選手と宮本選手



熊本選手団



試合の様子



※大会結果の詳細はホームページに掲載

春季昇段級審査に100人! 金漢老 国技院日本担当師範、来熊 4月5日 県民総合運動公園体育館

第11回タイガーマスターズカップテコンドー大会は、九州各県から220名が出場して開催された。平成27年度の県協会行事の始めとなる昇段級審査会は、県民運動公園体育館に100名が参加して行われた。今回、昨年、韓国、国技院で日本担当派遣師範となった金漢老（キムハンノ）師範が、昇段審査員として参加、昇段受験者に適切なアドバイスを示していた。

その後、樋口会長による、昇段審査合格者（昨年12月）へ基本、ブンセなどの指導が行われた。

第21回県学生大会、団体戦は熊大が制す! 4月26日 熊本学園大体育館

今年で21回目となる県学生選手権大会及び、第41回熊本地区総合体育大会テコンドー競技は、学園大体育館に、崇城大、熊本大、学園大から選手が出場、ブンセ、キョルギ個人、団体戦で行われ団体戦では、熊大Aチームが勝利を収めた。



試合の様子



試合の様子



試合の様子



樋口会長から表彰を受ける熊大Aチーム



記念撮影

指導者講習会に県外からも参加! 5月17日 託麻北地域コミュニティセンター

平成27年度第1回の指導者講習会は、宮崎、鹿児島、沖縄などの県外からの参加者を含めて、約4時間半に亘り、講義（指導者の在り方、歴史）及実技（ブンセ・基本動作）などが行われ、国際師範でもある樋口会長が指導を行った。講習会に先駆け、九州各県代表者による会議も行われた。



講習会の様子



講習参加者



講習会の様子

橋本聖子さん講演会開かれる 県体育協会加盟団体長、理事長会議 1月17日 ホテル日航熊本

国際・全国優勝者祝賀会に先立ち、県体育協会加盟の団体長、理事長会議が行われ、基調講演として、スケート、自転車などでオリンピックで活躍され現在は参議院議員、JOC常務理事などの要職にある橋本聖子さんが、自らの病氣と闘いながらトップアスリートとして苦勞した体験談をまじえながら、選手のケアの問題、スポーツにおける人材育成の必要性、東京五輪を控え、競技団体は、何をしなくてはならないか等、約70分に亘り話された。

県協会からは、樋口会長と津田理事長が出席した。



講演中の橋本聖子氏

国際・全国優勝者祝賀会 盛大に開催! 津田ひかる、牧野信一両選手も祝福 1月17日 ホテル日航熊本

平成26年度に開催された全国・国際大会での優勝者を讃えた熊本県体育協会主催の祝賀会が、日、ホテル日航で約300名が出席して行われた。

今回は20競技団体の個人、団体が対象となった。会場には、蒲島知事、JOC強化本部長の橋本聖子さんも来賓として出席、テコンドーからは、全日本選手権で優勝を飾った、津田ひかる、牧野信一の両選手と、樋口会長、津田理事長が出席、祝福を受けた。



橋本聖子氏を囲んで



津田・牧野両選手

女優「綾瀬はるか」さんテコンドー衣でCM撮影! 1月17日 熊本市東部はつつ交流会館

パナソニックの「ビューティフルジャパンプロジェクト」のテレビCMで熊本武道館支部で阿蘇市在住の森永修斗選手が、今回のプロジェクトの選考に選ばれ、テコンドーがCMやパナソニックのHPで紹介される事になり、この日、熊本を訪れた女優の綾瀬はるかさんと武道館支部のジュニア選手との取材が行われた。

2020年東京オリンピックで活躍が予想される中学生などのジュニア選手を対象として、47都道府県で様々な競技のCM撮影を行う企画で、熊本県はテコンドーが選ばれ、国際オープン等で活躍した、森永選手の起用が決定した。

撮影は綾瀬さんが黒帯を締め、武道館支部のジュニア選手と基本蹴りやミット蹴りを一緒に行うなど、初のテコンドーに興味を覚えていたようで、この模様は、RKK県内ニュースで2度放送された。

取材は24日まであり、森永選手が全国のテレビに登場するのは、4月頃となる予定。ご期待下さい。



テコンドーに挑戦する綾瀬はるかさん